

平成 23 年度

輪島市各会計決算審査意見書

並びに各基金の運用状況審査意見書

輪 島 市 監 査 委 員



発輪監査第45号
平成24年 8月23日

輪島市長 梶 文 秋 様

輪島市監査委員 湊 良 作

輪島市監査委員 中 山 勝

決算審査意見書の提出について

地方自治法第233条第2項、同法第241条第5項及び地方公営企業法第30条第2項の規定により、平成23年度輪島市各会計歳入歳出決算及び基金運用状況書類を審査したので、その結果について意見を提出します。

目 次

各会計歳入歳出決算

1. 審査の対象.....	1
2. 審査の期間.....	1
3. 審査の方法.....	1
4. 審査の結果.....	1
5. 決算の概要.....	2

一般会計.....	4
1. 決算収支状況.....	4
2. 歳入について.....	4
3. 歳出について.....	13

特別会計.....	23
1. 国民健康保険会計（事業勘定）.....	24
2. 国民健康保険会計（直営診療施設勘定）.....	29
3. 後期高齢者医療会計.....	30
4. 介護保険会計.....	33
5. 有線放送テレビ事業会計.....	36
6. 土地取得事業会計.....	38
7. 臨海土地造成事業会計.....	39
8. 公共下水道事業会計.....	40
9. 特定環境保全公共下水道事業会計.....	42
10. 農業集落排水事業会計.....	44
11. 漁業集落排水事業会計.....	46
12. 浄化槽事業会計.....	48

財産に関する調書.....	50
---------------	----

基金運用状況.....	52
-------------	----

審査資料

第1表 歳入歳出決算総括表.....	56
第2表 一般会計款別歳入一覧表.....	57
第3表 一般会計歳入款別年度別比較表.....	59
第4表 市税収入状況調.....	61
第5表 一般会計財源別歳入決算額調.....	63
第6表 一般会計款別歳出一覧表.....	65
第7表 一般会計歳出款別年度別比較表.....	67
第8表 一般会計款別用途別分類表.....	68

第 9 表	一般会計歳出款別明細書.....	6 9
第 1 0 表	特別会計歳入一覧表.....	7 1
第 1 1 表	特別会計歳出一覧表.....	7 1
第 1 2 表	特別会計歳出使途別分類表.....	7 1
第 1 3 表	特別会計歳出節別明細書.....	7 3
企業会計.....		7 5
病院事業会計.....		7 5
審査資料		
第 1 表	業務実績表.....	8 2
第 2 表	予算決算対照表.....	8 3
第 3 表	比較損益計算書.....	8 5
第 4 表	事業費用構成比較表.....	8 7
第 5 表	事業費用使途別構成比較表.....	8 8
第 6 表	比較貸借対照表.....	8 9
固定資産明細書.....		9 1
企業債明細書.....		9 2
補てん財源明細書.....		9 3
水道事業会計.....		9 4
審査資料		
第 1 表	業務実績表.....	1 0 1
第 2 表	予算決算対照表.....	1 0 2
第 3 表	比較損益計算書.....	1 0 4
第 4 表	事業費用構成比較表.....	1 0 6
第 5 表	事業費用使途別構成比較表.....	1 0 7
第 6 表	比較貸借対照表.....	1 0 8
固定資産明細書.....		1 1 0
企業債明細書.....		1 1 1
補てん財源明細書.....		1 1 6

- (注) 1. 文中のポイントとは、パーセンテージ間または指数間の単純差引数値である。
2. 各表中の金額は原則として円単位で表示し、千円単位で表示した部分は、単位未満を四捨五入した。このため計数が一致しない場合がある。
3. 比率は、原則として小数点第3位を四捨五入した。このため計数が一致しない場合がある。
4. 各表中の比較増減の減は△印で表示した。

平成23年度輪島市各会計決算審査意見

1. 審査の対象

平成23年度	輪島市一般会計歳入歳出決算
平成23年度	輪島市国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算
平成23年度	輪島市国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）歳入歳出決算
平成23年度	輪島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
平成23年度	輪島市介護保険特別会計歳入歳出決算
平成23年度	輪島市有線放送テレビ事業特別会計歳入歳出決算
平成23年度	輪島市土地取得事業特別会計歳入歳出決算
平成23年度	輪島市臨海土地造成事業特別会計歳入歳出決算
平成23年度	輪島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
平成23年度	輪島市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
平成23年度	輪島市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
平成23年度	輪島市漁業集落排水事業特別会計歳入歳出決算
平成23年度	輪島市浄化槽事業特別会計歳入歳出決算
平成23年度	附 財産に関する調書
平成23年度	輪島市病院事業会計決算
平成23年度	輪島市水道事業会計決算

2. 審査の期間

平成24年6月20日～平成24年8月6日

3. 審査の方法

審査は、市長から提出された歳入歳出決算書及び附属書類に基づき、担当職員の説明を聴取し、関係帳票及び証拠書類により計数の確認を行い、予算執行状況並びにその適否などについて審査した。

4. 審査の結果

各会計の決算は、関係法令に準拠して作成されており、決算額その他の計数は関係帳票及び証拠書類と符合していることを確認した。

5. 決算の概要

(1) 決算の規模

(単位：円・%)

区 分	平成23年度 予算現額	平成23年度 決算額	予算現額に対する比率
歳入	34,213,050,268	33,144,070,053	96.88
一般会計	23,295,263,268	22,392,575,346	96.13
特別会計	10,917,787,000	10,751,494,707	98.48
歳出	34,213,050,268	31,780,253,332	92.89
一般会計	23,295,263,268	21,166,070,137	90.86
特別会計	10,917,787,000	10,614,183,195	97.22
差引	0	1,363,816,721	-
一般会計	0	1,226,505,209	-
特別会計	0	137,311,512	-

(2) 決算の収支

平成23年度輪島市一般会計及び特別会計決算の状況は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分	一般会計	特別会計	合計
歳入決算額	22,392,575,346	10,751,494,707	33,144,070,053
歳出決算額	21,166,070,137	10,614,183,195	31,780,253,332
差引残額 (形式収支)	1,226,505,209	137,311,512	1,363,816,721
翌年度へ繰越すべき財源	322,082,622	0	322,082,622
実質収支	904,422,587	137,311,512	1,041,734,099

一般会計では、歳入総額が223億9,257万5千円、歳出総額が211億6,607万円であり、歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支12億2,650万5千円を24年度へ繰り越しているが、同年度へ繰り越した事業の財源に充当すべき額3億2,208万3千円が含まれているので、これを差し引いた額9億442万3千円が23年度の実質剰余金(実質収支)となる。

特別会計では、歳入総額が107億5,149万円5千円、歳出総額が106億1,418万3千円となり、形式収支で1億3,731万2千円の黒字で、実質収支においても同額となっている。

以上の結果、一般会計と特別会計の総合計では、歳入総額が331億4,407万円、歳出総額が317億8,025万3千円となり、形式収支で13億6,381万7千円の黒字で、実質収支においても10億4,173万4千円の黒字となっている。

(3) 財政力指数等について

普通会計における財政力指数等の推移は、次表のとおりである。

区 分	平成23年度	平成22年度	平成21年度	対22年度比較増減
財 政 力 指 数	0.242	0.250	0.267	△ 0.008
経 常 収 支 比 率	93.9	91.0	92.6	2.9
公 債 費 比 率	14.9	14.8	18.3	0.1
実 質 収 支 比 率	7.2	8.0	3.3	△ 0.8

・財政力指数

地方公共団体の財政力を示す指標であり、当該年度を含む過去3年間の平均値で表される。1に近いほどよく、1を超えるほど財源に余裕があるものとされている。

当年度の指数は0.242ポイントで、前年度と比べると0.008ポイント低下しており、主に税収入の減少が影響を及ぼしていると考えられる。根拠となる単年度の財政力指数（基準財政需要額に対する基準財政収入額の割合）をみると、平成21年度0.254、平成22年度0.231、当年度0.240となっている。

・経常収支比率

地方公共団体の財政構造の弾力性を示す指標であり、比率が低いほど弾力性がある。おおむね70～80%が標準とされている。

当年度の比率は93.9%で、前年度と比べると2.9ポイント低下している。

・公債費比率

この比率が高いほど財政が硬直化しており、10%を超えないことが望ましいとされている。

当年度の比率は14.9%で、前年度と比べると0.1ポイント低下している。

・実質収支比率

決算剰余又は欠損の状況を財政規模との比較であらわしたもので、良好な財政運営を行っているかどうかを示し、3%～5%程度が望ましいとされている。

当年度の比率は7.2%で、前年度と比べると0.8ポイント低下している。これは、特別地方交付税が前年度と比べて112,614千円少なくなったことなどから、剰余金が少額になったためと思われる。

なお、特別地方交付税を予算上の交付税額に置き換えて算定すると、前年度比率は約3%、当年度比率は約2%となり、平年並みの水準を維持していると思われる。